



プレスリリース  
「保育のおうち」が第2回  
親子保育体験イベントを開催

一時預かり専門 保育のおうち  
〒448-0013 愛知県刈谷市恩田町4丁目156-6  
<https://www.miraino-hoiku.com/>

一時預かり保育専門事業者「保育のおうち」(愛知県刈谷市:代表 岡本紀代子)は、6月11日、新たな時代に求められる個々の子育てを実感していただく親子保育体験イベントを、市原稲荷神社(愛知県刈谷市)で行います。このイベントでは、保育のおうちが日々実践している、こどもたち一人ひとりの発達や興味をベテランの保育士がくみとり、心や身体の成長を見越した声掛けや関わりを実践します。施設保育や集団保育ではできない個々の子育てを行うことで、子どもたちや保護者の満足や気付きを引き出します。

保育のおうちは2024年3月26日に総勢11組の参加者を迎えて第1回の保育体験イベントを実施し、参加者の皆様から高い評価をいただきました。イベントでは、さまざまなコーナーを用意し、子どもたちが本当にしたいことを受け止め、認め、単に要望通りにするだけではなく、真剣に関わることで子どもたちのこころやからだの育ちを促しました。

こうしたイベントを企画したのは、保護者や保育士の保育現場の現状に対する問題意識が背景にあります。

日本の保育は、明治時代にはじまってから一貫して量や質を向上させており、今日では女性の就労やひとり保護者の増加もあり、特に都市部では保育所や幼稚園など施設型保育、ベビーシッターなど派遣型保育のサービスが普及してきました。

しかし、施設型では保育者がひとりひとりのこどもたちと十分向き合えなかったり、派遣型では長期にわたってこどもや保護者をサポートすることができていないという問題があり、その原因としては、施設運営制度の縛りによる保育者の忙しさや、核家族型家庭の増加や都市化による保護者の孤立など、様々な要因があります。

また、子を持つ若い母親らは、家でどうやってこどもと関わるべきかがわからない、子どものことや保育について保育士と話したいのに話せない、うちの子の特徴を汲み取った保育をしてくれるのかがわからない、といった不安を抱えています。

こうした現状に対し、このイベントではいねいな保育を実践し、またそれを直接見ていただいたり、保育士とじっくり話す機会を提供することで問題解決をはかっています。

保育のおうちは、スタッフも子どもたちも縛られすぎず、互いに深く関わり、満足いく活動を一緒に取り組む場所です。新しい社会をになうこどもたちや女性の活躍の場ができることを目指して、保育のおうちは活動を充実させていきます。なお、イベントの詳細につきましては、別紙ちらしをご参照ください。

問い合わせ先: 保育のおうち 施設長 岡本紀代子 090-1755-7971

